

※個人所有のため、特別な催し以外、非公開です。



安田善次郎がこの北之端にある浅野総一郎邸を譲り受けたのは、明治末期から大正初期頃のことでした。安田善次郎は、前所有者の浅野総一郎が経営する浅野財閥の諸事業に融資しており、こうしたことから浅野が大磯の地を安田に紹介したと思われ、この地を安田へ譲り渡し、自らは高麗 560 番地外の地へと別荘を移しています。

しかし、この時に譲り受けた別荘は大正 4 年（1915）9 月に焼失してしまったことから、善次郎は新たに大正 6 年（1917）に別荘を建てており、これが現在の安田不動産大磯寮として使われている建物です。また、この頃には北之端（現在地）の外、堀之内、王城山、簾田にも土地を求め、合計 10,300 坪を所有しました。

安田は、大正 10 年（1921）9 月 28 日にこの大磯別荘において、朝日平吾に刺殺されますが、明治末期に譲り受けてからこの大磯をこよなく愛し、よくこの別荘を利用していたようです。

善次郎氏が亡くなってからは、この別荘に一時善次郎夫人が住まわれていましたが、昭和 5 年（1930）に夫人が亡くなると、安田善次郎記念館として永く保存することとなり、経蔵や持仏堂が新しく建立されました。そして、翌 6 年（1931）には裏の王城山中腹にあった善次郎氏の墓地も下に移され、現在地に夫人と共に葬られています。

【出典 大磯のすまい 大磯町教育委員会】

（2018 年 9 月現在）